

フランス語学フランス文学専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
フランス文学特論Ⅰ	文学をめぐる理論と常識(1)	2	今井 勉	前期 火曜日 2講時	
フランス文学特論Ⅱ	文学をめぐる理論と常識(2)	2	今井 勉	後期 火曜日 2講時	
フランス文化学特論Ⅰ	Marie NDiaye, romancière	2	MEVEL YANN ERIC	前期 水曜日 4講時	
フランス文化学特論Ⅱ	モニュメントと文学(者)の記憶	2	竹内 修一	通年集中 その他 連講	
フランス語学研究演習Ⅰ	フランス語学の現代的トピックⅠ	2	阿部 宏	前期 水曜日 5講時	
フランス語学研究演習Ⅱ	フランス語学の現代的トピックⅡ	2	阿部 宏	後期 水曜日 5講時	
フランス語学研究演習Ⅲ	Ecrire (de) l'intérieur	2	MEVEL YANN ERIC	前期 月曜日 5講時	
フランス語学研究演習Ⅳ	Marie NDiaye, romancière	2	MEVEL YANN ERIC	後期 月曜日 5講時	
フランス文学研究演習Ⅰ	近現代仏文学研究(1)	2	今井 勉	前期 水曜日 2講時	
フランス文学研究演習Ⅱ	近現代仏文学研究(2)	2	今井 勉	後期 水曜日 2講時	
フランス文学研究演習Ⅲ	アフリカ・フランス語の研究	2	黒岩 卓	前期 月曜日 3講時	
フランス文学研究演習Ⅳ	アフリカ・フランス語の研究	2	黒岩 卓	後期 月曜日 3講時	

科目名：フランス文学特論 I / French Literature (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 火曜日 2 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LM12207, 科目ナンバリング：LGH-LIT638J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：文学をめぐる理論と常識（1）
2. Course Title (授業題目)：Theory and common sense (1)
3. 授業の目的と概要：この授業では、フランス文学研究におけるさまざまな方法論を学びながら、実際の論文（レポート、研究ノート、学会誌投稿論文、修士論文や博士論文などの学位論文）を構想・執筆するに当たって最も重要となる問題設定の仕方と論理展開の方法について、実例をもとに実践的に考え、実習を通して執筆訓練を行います。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding diversity in the research and to develop the abilities necessary in academic writing.
5. 学習の到達目標：論文の構想と執筆について具体的かつ実践的な見通しを持つことができるようになる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students have a concrete and practical perspective of writing articles.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
第1回 導入
第2回 内在批評と外在批評
第3回 テクストの価値づけ
第4回 先行研究へのリスペクトと文献目録
第5回 最新の本文批評版および最新の研究への目配り
第6回 比較断章法（1）
第7回 比較断章法（2）
第8回 「注」への注意
第9回 問題設定は自分にしかできないということ（1）
第10回 問題設定は自分にしかできないということ（2）
第11回 執筆要項の順守
第12回 研究ノートを書いてみよう（1）
第13回 研究ノートを書いてみよう（2）
第14回 修士論文の構想（1）
第15回 修士論文の構想（2）
8. 成績評価方法：
準備をしたうえでの授業への参加状況 100%
9. 教科書および参考書：
プリントを配付します。
10. 授業時間外学習：毎回、十分な準備をして臨むこと。
11. 実務・実践的授業/Practical business
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：なし

科目名：フランス文学特論Ⅱ／ French Literature(Advanced Lecture)II

曜日・講時：後期 火曜日 2講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LM22205, 科目ナンバリング：LGH-LIT639J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：文学をめぐる理論と常識（2）
2. Course Title (授業題目)：Theory and common sense (2)
3. 授業の目的と概要：この授業では、フランス文学研究におけるさまざまな方法論を学びながら、実際の論文（レポート、研究ノート、学会誌投稿論文、修士論文や博士論文などの学位論文）を構想・執筆するに当たって最も重要となる問題設定の仕方と論理展開の方法について、実例をもとに実践的に考え、実習を通して執筆訓練を行います。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding diversity in the research and to develop the abilities necessary in academic writing.
5. 学習の到達目標：論文の構想と執筆について具体的かつ実践的な見通しを持つことができるようになる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students have a concrete and practical perspective of writing articles.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
第1回 夏休みの課題の検討（1）
第2回 夏休みの課題の検討（2）
第3回 展開フィードバック（1）
第4回 展開フィードバック（2）
第5回 研究の過去・現状・意義（1）
第6回 研究の過去・現状・意義（2）
第7回 引用とは何か（1）
第8回 引用とは何か（2）
第9回 引用をつなぐ（1）
第10回 引用をつなぐ（2）
第11回 発表レジュメと引用集（1）
第12回 発表レジュメと引用集（2）
第13回 トポスの範囲確定と問題化（1）
第14回 トポスの範囲確定と問題化（2）
第15回 まとめ
8. 成績評価方法：
準備をしたうえでの授業への参加状況 100%
9. 教科書および参考書：
プリントを配付します。
10. 授業時間外学習：毎回、十分な準備をして臨むこと。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス文化学特論 I / French Culture (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

semester：1 学期 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC

コード：LM13404, 科目ナンバリング：LGH-LIT642F, 使用言語：英語以外の外国語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Marie NDiaye, romancière
2. Course Title (授業題目)：Marie NDiaye, romancière
3. 授業の目的と概要：- découverte de l'œuvre romanesque de Marie NDiaye, Prix Goncourt 2009
 - analyse des tensions entre réalisme et étrangeté dans le roman Un temps de saison (1994)
 - analyse des stratégies narratives, de l'art du portrait et du dialogue dans un roman contemporain
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：- découverte de l'œuvre romanesque de Marie NDiaye, Prix Goncourt 2009
 - analyse des tensions entre réalisme et étrangeté dans le roman Un temps de saison (1994)
 - analyse des stratégies narratives, de l'art du portrait et du dialogue dans un roman contemporain
5. 学習の到達目標：Ce cours permettra
 - de développer ses capacités d'analyse d'une œuvre intégrale en français, sur le plan thématique, poétique, stylistique
 - de s'initier à la méthode de l'explication de texte, exercice-clé des études littéraires en France, et de pratiquer l'exposé
 - de développer ses capacités d'expression et d'argumentation à l'écrit et à l'oral
 - de mieux connaître la littérature française contemporaine
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Ce cours permettra
 - de développer ses capacités d'analyse d'une œuvre intégrale en français, sur le plan thématique, poétique, stylistique
 - de s'initier à la méthode de l'explication de texte, exercice-clé des études littéraires en France, et de pratiquer l'exposé
 - de développer ses capacités d'expression et d'argumentation à l'écrit et à l'oral
 - de mieux connaître la littérature française contemporaine
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1) Présentation générale de l'œuvre de Marie NDiaye
 - 2) Présentation de l'accueil critique du roman Un temps de saison
 - 3) Explication de texte
 - 4) Explication de texte
 - 5) Explication de texte
 - 6) Explication de texte
 - 7) Explication de texte
 - 8) Explication de texte
 - 9) Explication de texte
 - 10) Explication de texte
 - 11) Explication de texte
 - 12) Explication de texte
 - 13) Explication de texte
 - 14) Synthèse
 - 15) Travaux d'étudiants
 - 16) Travaux d'étudiants
8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra en compte à la fois la participation en cours (50 %) et les travaux de fin de semestre.
9. 教科書および参考書：

Les textes étudiés seront fournis aux étudiants.
10. 授業時間外学習：Avant toute explication de texte il sera nécessaire d'effectuer un travail préparatoire sur le vocabulaire et les références culturelles. Il faudra aussi s'interroger sur les enjeux du texte étudié, sur le plan thématique, poétique, stylistique.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
 - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
 - 《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス文化学特論Ⅱ／ French Culture(Advanced Lecture)Ⅱ

曜日・講時：通年集中 その他 連講

セメスター：集中 単位数：2

担当教員：竹内 修一

コード：LM98806, 科目ナンバリング：LGH-LIT643J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：モニュメントと文学（者）の記憶

2. Course Title (授業題目)：Monument and French literature

3. 授業の目的と概要：パリの文教地区である第五区に、パンテオンと呼ばれるモニュメントがある。そもそもは教会として建立されたこの巨大な建造物は、フランス革命が起こると世俗化されて「偉人 grand homme」を埋葬する場所となった。本講義ではパンテオンに眠る文学者たちに注目し、どのような意味に於いて共和国は彼等を「偉人」であると認定してきたのか考察してみたい。『社会契約論』の著者ルソーを選んだ革命政府から、ドレフェス事件の「知識人」ゾラを選んだ第三共和制政府を経て、黒人の血を引くデュマを選んだシラク大統領に至るまで、あるいは植民地出身のカミュを選ぼうとしたサルコジ大統領に至るまで、共和国による「偉大な作家」の認定は時代時代の状況を強く反映していることが理解されるであろう。この授業は、革命後のフランスにおける政治と文学（者）の関係を、パンテオンというモニュメントを通して読み解こうとするものである。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The purpose of this course is to focus on the literary figures in the Panthéon and to understand in what sense the Republic has recognized them as "great men".

5. 学習の到達目標：1. 文学と国民国家の関係を理解する。

2. フランス語の読解能力を高める。

3. 関心をもった主題について、正当な秩序に基づいて論じる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. To understand the relationship between literature and the nation-state.

2. To improve the reading ability of French texts.

3. To write a dissertation on a subject you are interested in.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 パンテオン概観

第2回 パンテオンの歴史：「作られた伝統」

第3回 パンテオンと国民文学史の確立

第4回 ヴォルテール（1791）とルソー（1794）：革命とフィロゾーフ

第5回 ユゴー（1885）とゾラ（1908）：共和国の統合と分裂

第6回 ゾラをめぐる論争

第7回 マルロー1：ジャン・ムーランのパンテオンへの移葬（1964）

第8回 マルロー2：ディスクールの生成

第9回 マルロー3：マルローのパンテオンへの移葬（1996）

第10回 デュマ：黒人奴隷の子孫のパンテオン葬（2002）

第11回 パンテオンとホロコーストの記憶

第12回 カミュ1：アフリカ出身のヨーロッパの作家

第13回 カミュ2：パンテオンとアルジェリアの記憶

第14回 カミュをめぐる論争

第15回 まとめ

8. 成績評価方法：

授業への参加（50%）、学期末レポート（50%）

9. 教科書および参考書：

【教科書】

パワーポイントを使用して授業を行い、スライドのコピーを配布する。

【参考書】

長井伸仁『歴史がつくった偉人たち——近代フランスとパンテオン』、山川出版社、2007年。

モナ・オズーフ「パンテオン」（ピエール・ノラ編、谷川稔監訳、『記憶の場——フランス国民意識の文化=社会史〈第2巻〉続合』、岩波書店、2003年所収）。

アントワヌ・コンパニョン、今井勉訳、『文学史の誕生——ギュスターヴ・ランソンと文学の第三共和政』、水声社、2020年。

アンリ・ルソー、剣持久木ほか訳『過去と向き合う——現代の記憶についての試論』、吉田書店、2020年。

10. 授業時間外学習：ひとつでもよいので、パンテオンに眠る作家の作品を読んでおくことが望ましい。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：フランス語学研究演習 I / French Linguistics(Advanced Seminar)I

曜日・講時：前期 水曜日 5 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：阿部 宏

コード：LM13504, 科目ナンバリング：LGH-LIT644J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語学の現代的トピック I
2. Course Title (授業題目)：Questions contemporaines de langue française (1)
3. 授業の目的と概要： フランス語に関する論文を読みながら，フランス語学・一般言語学・言語学史・対照言語研究の基礎概念を紹介・解説し，フランス語の諸現象について考える．また，日本語，英語との対照的考察を行う．
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：En lisant des articles sur le français, on expliquera les concepts de base de la linguistique française, de la linguistique générale, de l'histoire de la linguistique et de la linguistique contrastive, et on mettra en relief des caractéristiques du français. On traitera également des études contrastives avec le japonais et l'anglais.
5. 学習の到達目標：・フランス語学・一般言語学・仏英日対照言語学の基礎が理解できる．
 - ・フランス語学の研究史が把握できる．
 - ・語学研究の方法論が理解できる．
 - ・言語に潜在する主観性概念への関心が高まる．
6. Learning Goals(学修の到達目標)：* Comprendre les méthodologies élémentaires de la linguistique française, de la linguistique générale, de la linguistique contrastive franco-anglaise.
 - * Comprendre l'histoire de la linguistique française
 - * Comprendre la méthodologie de la recherche linguistique.
 - * Comprendre le concept de subjectivité dans le langage.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
 1. ガイダンス
 2. フランス語学関連文献読解 (1)
 3. フランス語学関連文献読解 (2)
 4. フランス語学関連文献読解 (3)
 5. フランス語学関連文献読解 (4)
 6. 一般言語学関連文献読解 (1)
 7. 一般言語学関連文献読解 (2)
 8. 一般言語学関連文献読解 (3)
 9. 一般言語学関連文献読解 (4)
 10. 言語学史関連文献読解 (1)
 11. 言語学史関連文献読解 (2)
 12. 言語学史関連文献読解 (3)
 13. 対照言語学関連文献読解 (1)
 14. 対照言語学関連文献読解 (2)
 15. まとめと筆記試験
8. 成績評価方法：

平常点 40%, 筆記試験 60%
9. 教科書および参考書：

プリント使用.

参考書：阿部宏『言葉に心の声を聞く』(2015) 東北大学出版会.

他に，関連図書について，適宜推薦します.
10. 授業時間外学習：教室で適宜テーマを与えますので，関連資料を調査し，各自考えていただきます
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
 - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business
 - 《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス語学研究演習Ⅱ／ French Linguistics(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 水曜日 5講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：阿部 宏

コード：LM23505, 科目ナンバリング：LGH-LIT645J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語学の現代的トピック II

2. Course Title (授業題目)：Questions contemporaines de langue française II

3. 授業の目的と概要： フランス語に関する論文を読みながら、フランス語学・一般言語学・言語学史・対照言語研究の基礎概念を紹介・解説し、フランス語の諸現象について考える。また、日本語、英語との対照的考察を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：En lisant des articles sur le français, on expliquera les concepts de base de la linguistique française, de la linguistique générale, de l'histoire de la linguistique et de la linguistique contrastive, et on mettra en relief des caractéristiques du français. On traitera également des études contrastives avec le japonais et l'anglais.

5. 学習の到達目標：・フランス語学・一般言語学・仏英日対照言語学の基礎が理解できる。

・フランス語学の研究史が把握できる。

・語学研究の方法論が理解できる。

・言語に潜在する主観性概念への関心が高まる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：* Comprendre les méthodologies élémentaires de la linguistique française, de la linguistique générale, de la linguistique contrastive franco-anglaise.

* Comprendre l'histoire de la linguistique française

* Comprendre la méthodologie de la recherche linguistique.

* Comprendre le concept de subjectivité dans le langage.

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

1. ガイダンス

2. フランス語学関連文献読解 (1)

3. フランス語学関連文献読解 (2)

4. フランス語学関連文献読解 (3)

5. フランス語学関連文献読解 (4)

6. 一般言語学関連文献読解 (1)

7. 一般言語学関連文献読解 (2)

8. 一般言語学関連文献読解 (3)

9. 一般言語学関連文献読解 (4)

10. 言語学史関連文献読解 (1)

11. 言語学史関連文献読解 (2)

12. 言語学史関連文献読解 (3)

13. 対照言語学関連文献読解 (1)

14. 対照言語学関連文献読解 (2)

15. まとめと筆記試験

8. 成績評価方法：

平常点 40%, 筆記試験 60%

9. 教科書および参考書：

プリント使用。

参考書：阿部宏『言葉に心の声を聞く』(2015) 東北大学出版会。

他に、関連図書について、適宜推薦します。

10. 授業時間外学習：教室で適宜テーマを与えますので、関連資料を調査し、各自考えていただきます

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：フランス語学研究演習Ⅲ／ French Linguistics(Advanced Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 月曜日 5講時

セメスター：1学期 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC

コード：LM11502, 科目ナンバリング：LGH-LIT646F, 使用言語：英語以外の外国語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Ecrire (de) l'intérieur
2. Course Title (授業題目)：Ecrire (de) l'intérieur
3. 授業の目的と概要：Le cours visera à
 - aborder des œuvres littéraires qui, avant l'expérience des confinements suscités par la crise sanitaire, prenaient pour objet l'espace domestique
 - analyser des représentations contemporaines de l'espace domestique, envisagé dans sa dimension la plus matérielle, mais aussi comme le lieu où se donnent à voir un rapport au monde, une conception de l'existence, une intériorité au sens psychologique et moral
 - explorer les résonances de la crise sanitaire mondiale et en particulier de l'expérience du confinement sur la littérature en France
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Le cours visera à
 - aborder des œuvres littéraires qui, avant l'expérience des confinements suscités par la crise sanitaire, prenaient pour objet l'espace domestique
 - analyser des représentations contemporaines de l'espace domestique, envisagé dans sa dimension la plus matérielle, mais aussi comme le lieu où se donnent à voir un rapport au monde, une conception de l'existence, une intériorité au sens psychologique et moral
 - explorer les résonances de la crise sanitaire mondiale et en particulier de l'expérience du confinement sur la littérature en France
5. 学習の到達目標：Ce cours permettra
 - de développer ses capacités d'analyse d'une œuvre intégrale en français, sur le plan thématique, poétique, stylistique
 - de s'initier à la méthode de l'explication de texte, exercice-clé des études littéraires en France, et de pratiquer l'exposé
 - de développer ses capacités d'expression et d'argumentation à l'écrit et à l'oral
 - de mieux connaître la littérature française contemporaine
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Ce cours permettra
 - de développer ses capacités d'analyse d'une œuvre intégrale en français, sur le plan thématique, poétique, stylistique
 - de s'initier à la méthode de l'explication de texte, exercice-clé des études littéraires en France, et de pratiquer l'exposé
 - de développer ses capacités d'expression et d'argumentation à l'écrit et à l'oral
 - de mieux connaître la littérature française contemporaine
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1) Introduction：la littérature française et l'espace domestique, avant la crise sanitaire
 - 2) Introduction：la littérature française et l'espace domestique, avant la crise sanitaire
 - 3) Quels effets de l'expérience du confinement sur la littérature française ? Quelques orientations pour la réflexion et la recherche
 - 4) Explication de texte
 - 5) Explication de texte
 - 6) Explication de texte
 - 7) Explication de texte
 - 8) Explication de texte
 - 9) Explication de texte
 - 10) Explication de texte
 - 11) Explication de texte
 - 12) Explication de texte
 - 13) L'expérience du confinement dans les arts
 - 14) L'expérience du confinement dans les arts
 - 15) Travaux d'étudiants
 - 16) Travaux d'étudiants
8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra en compte à la fois la participation en cours (50 %) et les travaux de fin de semestre.
9. 教科書および参考書：

Les textes étudiés seront fournis aux étudiants.

1 0. 授業時間外学習 : Avant toute explication de texte il sera nécessaire d'effectuer un travail préparatoire sur le vocabulaire et les références culturelles. Il faudra aussi s'interroger sur les enjeux du texte étudié, sur le plan thématique, poétique, stylistique.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他 : なし

科目名：フランス語学研究演習Ⅳ／ French Linguistics(Advanced Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 月曜日 5講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC

コード：LM21502, 科目ナンバリング：LGH-LIT647F, 使用言語：英語以外の外国語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Marie NDiaye, romancière
2. Course Title (授業題目)：Marie NDiaye, romancière
3. 授業の目的と概要：- découverte de l'œuvre romanesque de Marie NDiaye, Prix Goncourt 2009
- analyse des tensions entre réalisme et surnaturel, humour et mélancolie dans le roman La Sorcière (1996)
- travail méthodologique sur les modes d'analyse d'une œuvre narrative
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：- découverte de l'œuvre romanesque de Marie NDiaye, Prix Goncourt 2009
- analyse des tensions entre réalisme et surnaturel, humour et mélancolie dans le roman La Sorcière (1996)
- travail méthodologique sur les modes d'analyse d'une œuvre narrative
5. 学習の到達目標：Ce cours permettra
- de développer ses capacités d'analyse d'une œuvre intégrale en français, sur le plan thématique, poétique, stylistique
- de s'initier à la méthode de l'explication de texte, exercice-clé des études littéraires en France, et de pratiquer l'exposé
- de développer ses capacités d'expression et d'argumentation à l'écrit et à l'oral
- de mieux connaître la littérature française contemporaine
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Ce cours permettra
- de développer ses capacités d'analyse d'une œuvre intégrale en français, sur le plan thématique, poétique, stylistique
- de s'initier à la méthode de l'explication de texte, exercice-clé des études littéraires en France, et de pratiquer l'exposé
- de développer ses capacités d'expression et d'argumentation à l'écrit et à l'oral
- de mieux connaître la littérature française contemporaine
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1) Réflexion sur la notion de fantastique
 - 2) Présentation de l'accueil critique du roman La Sorcière
 - 3) Explication de texte
 - 4) Explication de texte
 - 5) Explication de texte
 - 6) Explication de texte
 - 7) Explication de texte
 - 8) Explication de texte
 - 9) Explication de texte
 - 10) Explication de texte
 - 11) Explication de texte
 - 12) Explication de texte
 - 13) Explication de texte
 - 14) Synthèse
 - 15) Travaux d'étudiants
 - 16) Travaux d'étudiants
8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra en compte à la fois la participation en cours (50 %) et les travaux de fin de semestre.
9. 教科書および参考書：

Les textes étudiés seront fournis aux étudiants.
10. 授業時間外学習：Avant toute explication de texte il sera nécessaire d'effectuer un travail préparatoire sur le vocabulaire et les références culturelles. Il faudra aussi s'interroger sur les enjeux du texte étudié, sur le plan thématique, poétique, stylistique.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：フランス文学研究演習 I / French Literature (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 水曜日 2 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LM13205, 科目ナンバリング：LGH-LIT648J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：近現代仏文学研究（1）
2. Course Title (授業題目)：French modern literature (1)
3. 授業の目的と概要：この授業では、近現代フランス文学関連のテキストを精読します。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding of the French modern literature through the intensive reading of texts.
5. 学習の到達目標：近現代フランス文学の理解を深める。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students better understand French modern literature.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
第1回 導入&テキスト読解（1）
第2回 テキスト読解（2）
第3回 テキスト読解（3）
第4回 テキスト読解（4）
第5回 テキスト読解（5）
第6回 テキスト読解（6）
第7回 テキスト読解（7）
第8回 テキスト読解（8）
第9回 テキスト読解（9）
第10回 テキスト読解（10）
第11回 テキスト読解（11）
第12回 テキスト読解（12）
第13回 テキスト読解（13）
第14回 テキスト読解（14）
第15回 テキスト読解（15）
8. 成績評価方法：
予習をしたうえでの授業への参加状況 60%+レポート 40%（テキストの内容と関係のあるテーマを設定して 2000 字程度で論述せよ）。
9. 教科書および参考書：
授業で指示します。
10. 授業時間外学習：毎回、十分な予習が必要となります。
 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：なし

科目名：フランス文学研究演習Ⅱ／ French Literature(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 水曜日 2講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LM23206, 科目ナンバリング：LGH-LIT649J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：近現代仏文学研究（2）
2. Course Title (授業題目)：French modern literature (2)
3. 授業の目的と概要：この授業では、近現代フランス文学関連のテキストを精読します。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding of the French modern literature through the intensive reading of texts.
5. 学習の到達目標：近現代フランス文学の理解を深める。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students better understand French modern literature.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
第1回 導入&テキスト読解（1）
第2回 テキスト読解（2）
第3回 テキスト読解（3）
第4回 テキスト読解（4）
第5回 テキスト読解（5）
第6回 テキスト読解（6）
第7回 テキスト読解（7）
第8回 テキスト読解（8）
第9回 テキスト読解（9）
第10回 テキスト読解（10）
第11回 テキスト読解（11）
第12回 テキスト読解（12）
第13回 テキスト読解（13）
第14回 テキスト読解（14）
第15回 テキスト読解（15）
8. 成績評価方法：
予習をしたうえでの授業への参加状況 60%+レポート 40%（テキストの内容と関係のあるテーマを設定して 2000 字程度で論述せよ）。
9. 教科書および参考書：
授業で指示します。
10. 授業時間外学習：毎回、十分な予習が必要となります。
 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：なし

科目名：フランス文学研究演習Ⅲ／ French Literature(Advanced Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 月曜日 3講時

セメスター：1学期 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LM11305, 科目ナンバリング：LGH-LIT650J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：アフリカ・フランス語の研究
2. Course Title (授業題目)：French Language in Africa
3. 授業の目的と概要：アフリカにおけるフランス語の研究である Camille-Roger Abolou, Les français populaires africains. Franco-véhiculaires, franc-bâtard, franco-africain, Harmattan Côte d'Ivoire, 2012 を読みます。それを通じてアフリカ地域におけるフランス語を巡るさまざまなトピックを学び、当該分野の研究に必要な基礎的な知識を身につけます。場合によっては、アフリカ文学に関する別のテキストを選ぶこともあります。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The participants read a monography about the issue (Camille-Roger Abolou, Les français populaires africains. Franco-véhiculaires, franc-bâtard, franco-africain, Harmattan Côte d'Ivoire, 2012), and obtain the basic knowledge for the study of this domaine. We can also choose other texts concerning African Literature.
5. 学習の到達目標：アフリカにおけるフランス語の研究に関する基礎知識を習得する。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Each learner obtains the basic knowledge for the study of French in Africa.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
(以下の進捗は目安で、実際には変更があり得ます)

第一回 オリエンテーション
第二回 pp. 77-78
第三回 pp. 79-80
第四回 pp. 81-82
第五回 pp. 83-84
第六回 pp. 85-86
第七回 pp. 87-88
第八回 pp. 89-90
第九回 pp. 91-92
第十回 pp. 93-94
第十一回 pp. 95-96
第十二回 pp. 97-98
第十三回 pp. 99-100
第十四回 pp. 101-102
第十五回 pp. 103-104
8. 成績評価方法：
出席(100%)
9. 教科書および参考書：
Camille-Roger Abolou, Les français populaires africains. Franco-véhiculaires, franc-bâtard, franco-africain, Harmattan Côte d'Ivoire, 2012.
10. 授業時間外学習：出席時の訳読のクオリティも評価の対象となりますので、綿密な予習が必要になります。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
出席者の希望によっては、アフリカのフランス語や文学に関する別のテキストを使うこともあり得ます。その点は第一回目の授業で話し合います。

科目名：フランス文学研究演習Ⅳ／ French Literature(Advanced Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 月曜日 3講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LM21303, 科目ナンバリング：LGH-LIT651J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：アフリカ・フランス語の研究
2. Course Title (授業題目)：French Language in Africa
3. 授業の目的と概要：アフリカにおけるフランス語の研究である Camille-Roger Abolou, Les français populaires africains. Franco-véhiculaires, franc-bâtard, franco-africain, Harmattan Côte d'Ivoire, 2012 を読みます。それを通じてアフリカ地域におけるフランス語を巡るさまざまなトピックを学び、当該分野の研究に必要な基礎的な知識を身につけます。場合によっては、アフリカ文学に関する別のテキストを選ぶこともあります。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The participants read a monography about the issue (Camille-Roger Abolou, Les français populaires africains. Franco-véhiculaires, franc-bâtard, franco-africain, Harmattan Côte d'Ivoire, 2012), and obtain the basic knowledge for the study of this domaine. We can also choose other texts concerning African Literature.
5. 学習の到達目標：アフリカにおけるフランス語の研究に関する基礎知識を習得する。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Each learner obtains the basic knowledge for the study of French in Africa.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
(授業は原則として対面授業(半分以上)とリアルタイム型オンライン授業の併用です。詳細は受講者と調整します)
(以下の進度は目安で、実際には変更があり得ます)

第一回 オリエンテーション

第二回 pp. 105-106

第三回 pp. 107-108

第四回 pp. 109-110

第五回 pp. 111-112

第六回 pp. 113-114

第七回 pp. 115-116

第八回 pp. 117-118

第九回 pp. 119-120

第十回 pp. 121-122

第十一回 pp. 123-124

第十二回 pp. 125-126

第十三回 pp. 127-128

第十四回 pp. 129-130

第十五回 pp. 131-132

8. 成績評価方法：

出席(100%)

9. 教科書および参考書：

Camille-Roger Abolou, Les français populaires africains. Franco-véhiculaires, franc-bâtard, franco-africain, Harmattan Côte d'Ivoire, 2012.

10. 授業時間外学習：出席時の訳読のクオリティも評価の対象となりますので、綿密な予習が必要になります。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

受講者の皆さんの希望によっては、別のアフリカのフランス語・文学に関するテキストを使うこともあり得ます。第一回目の授業で相談をします。